

年頭のご挨拶



東日本電信電話株式会社 代表取締役社長 山村 雅之

明けましておめでとうございます。

平素よりNTT東日本グループのサービスや商品をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

社長就任後、初めての新年ということで、あらためて身の引き締まる思いです。

昨年を振り返りますと、情報通信市場ではスマートフォン・タブレット端末の普及に伴うモバイルブロードバンドの拡大、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの台頭、新たな映像系サービスや無料通話アプリの登場などさまざまな変化が起きました。

そのような状況の中、ブロードバンドサービスはこの1年でさらに普及が進み、固定と無線をあわせた全国のブロードバンド契約数は4,000万を超えるに至りました。

こうした中、NTT東日本では、昨年末時点で光ブロードバンドサービスのエリアカバー率を約98%まで拡大するとともに、お客様のご要望にお応えするべくサービスメニューの多様化を図ってきました。

無線アクセスを利用した「フレッツ 光WiFiアクセス」、電力見える化サービス「フレッツ・ミルエネ」、自治体等と連携した「WiFiスポットの拡大」といった、光の利活用拡大に取り組むとともに、すでにご利用のお客様向けには、「にねん割の提供」やご利用いただく年数に応じて還元ポイントが増える「フレッツ 光メンバーズクラブ マンスリーポイントの充実」、「フレッツ 光ライト マンションタイプの値下げ」、また、新規のお客様向けには、2年間一定額を割引く新規加入促進キャンペーン「思いっきり割」を導入するなどの取り組みを行い、おかげさまで、「フレッツ光」の契約数は960万を突破することができました。

一方で、つなぎ続ける使命を果たすための取り組みも継続して行ってきました。東日本大震災からの本格復旧の取り組みに加え、通信ネットワークのさらなる信頼性向上を目指した各種対策を進めるとともに、首都直下地震といった今後発生する可能性が高い災害を視野に入れた対策も講じてきました。

さて、2013年となり、新たな年を迎えたわけですが、今年はICTの発展に伴いお客様のご要望もますます多様化し、光とモバイルを効率的に使い分けるといった新たな利用の形も進んでいくと考えております。その中で、お客さまに光の利便性を享受いただける環境を提供していくため、サービスや料金メニューを一層充実させるとともに、全く新たな光の利用モデル、利用シーンの構築・提案といった分野にチャレンジし、皆さまの生活や企業・社会活動のさまざまなお困りごとの解決にお役にたてるよう事業活動にまい進してまいります。

社員一人ひとりが常に弊社のサービスをご利用いただくお客様の目線で、お客様にとっての価値が何であるのかを考え、そしてその価値をどのようにご提供していくか考え続けること。社会からの信頼とお客様の声に真摯に耳を傾けご要望に即応すること。全国津々浦々の現場において、地域に根ざしてお客様との「face to face」のつながりを大切にすること。NTT東日本は、これまで培ってきた「現場力」、「つなぐDNA」を継承し、お客様に信頼され、ご愛顧いただける企業、「人と通信で、地域をつなぐ会社」として、進化していく所存です。

末筆ながら、今年が皆さまにとって、より良い飛躍の年になることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。